Poolside
プールサイド
chapter2
R-18
Adult
only

どうして…

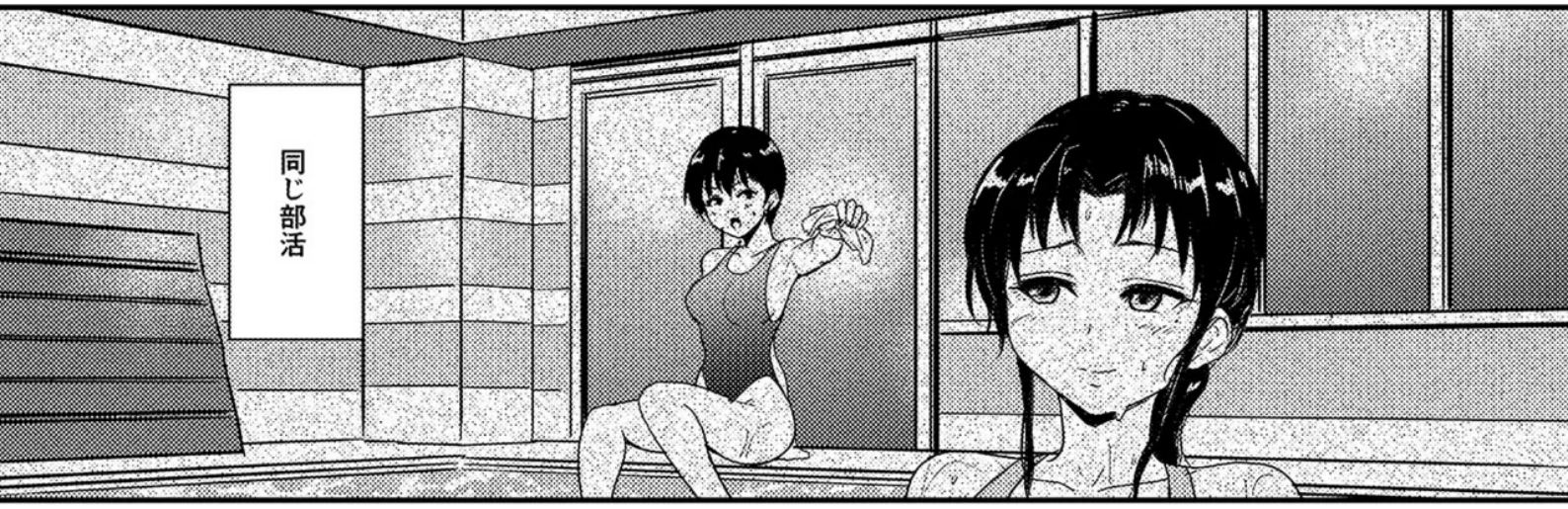
こうなってしまったのだろうか…

お前ら二人は犬だ

これは叶わぬ願いを求めた罰なのだろうか…

しっかり奉仕出来る様に調教してやる

[redacted]小学校
入学式
幼い頃から
同じ学校


同じ部活

いつからだろう…

同じ女の子同士…
私はただ真琴の
ことが好きで好きで
たまらなかった

この気持ちが
友達に抱く感情とは
別のものと気付いたのは…

真琴…私ね…
さて今日も楽しませてもらうぜ
ハァ
ハァ
ガタ
ガタ
電気拷問は楽しいだろ？
悪いなお前の様な女を嬲るのが趣味でな
……
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
ガタ
俺の水着コーデはどうよ？
売り物にする前にちょっと楽しませてもらうわ
魅力倍増だろ？

カチ
ああ そうか そうか 気に入って くれて 何よりだ
耐え抜いたら お友達のことは 勘弁してやるよ
電圧上げるわ

いい声だ
お前の様な上玉が引っかかってくれて
俺はツイてるわ
なんで…
なんでこんな…

澪
俺はお前のことかってんだぜ？

友達のことを思って自分を差し出すなんてなかなか出来ねえよ

ジョアアッ

ビク

ビク

ビク

ビク

真琴…

まあいいさ

いづれそうなる

歯を立てるなよ真琴がどうなっても知らねえぞ

ぐぢゅ

ぐぢゅ

ぢゅぱ

売り物になる頃までには

思いつく限りの辱めを経験させてやる

ぢゅぱ

覚悟しとけよ

ぢゅる

強情なヤツをゆっくり調教するのもいいがな

ぢゅぱ

ウシっちゃんと飲み干せよ

ぢゅぱ

ぢゅぱ

ぢゅる

ハァ
ハァ
ビク
ビク
ふう よかったぜ
ホタ
ホタ
ビク
ホタ
ホタ
ホタ
ホタ
お前が 俺のおもちゃに なってる間は
真琴にへは 手を出さないで いてやるよ
お前は 幸せ者だな

ヒクチョ
ヒクチョ
聞こえてるか？
なあ真琴
こんなに身を挺して守ってくれる友達がいて
ブル
ヒクチョ

ふう…

とは言いつつ…
澪のやつ
なかなか最後まで
堕ちねえな

最初は簡単に
て名付けられると
思っていたが…

なかなか強情な
女だぜ…

やり方を変えるか…

しかし
どうやる…

珍しいわね
深刻そうな顔して

やっほー
桧室(ひむろ)ちゃん

咲喜(さき)姐さん
…と

大門さん

ラク

3人揃って来るとは珍しい
待ってましたよ調教師の皆々様
ただ営業中に来ないで下さいよ
昼間は普通の市民プールでやってんですから
ごめんなさいねどうしても抑えられなくて
観たわよあの子たちの動画
なかなか良い子たちを捕まえたじゃない
私も人肌脱がせてくれないかしら？
澪って方はなかなか強情ですよ
あ～
どちらかというと澪って娘の方に興味があるのよ
彼女は今どこに？

絶賛調教中

友達の分も自分が陵辱を受けるって言うもんでね

お望み通り休み無しで可愛がってますよ

桧室ちゃんがお願いを聞いてあげるなんて珍しい

随分その娘に入れ込んでるのね

お友達を庇って一身に受けるなんて素敵じゃない

いや

ギリ

ギリ

ヴィィィ

ヴィィィ

ヴィィィ

澪はね口では抵抗しているけど

調教部屋に連行する時やこれから犯される時にはしっかり濡れてやがんですよ

身体はドMの癖に

真琴を庇うことで自分に言い訳をしてんすよ

ワクワクしますね～
あの強気な性格が
ちんぽ狂いの
肉便器に堕ちる
ようになるのが
確かに上玉だな
俺の女にしたい
くらいだ
まあ
売り物に
ならないなら
俺の女にして
一生飼ってやって
いいっすけどね
何？
それって私より
あの子たちの方が
魅力的って
言いたいわけ？
まさかっ
お前の次に
いい女って意味だ
わかるだろう？

もうっ!!
当然よねっ♪
ニコッ

ったく痴話喧嘩は他所でやれよな
アンタらといるとこっちも頭おかしくなるぜ
桧室ちゃんっ!? あんまりだわっ

フハハハっ
いいぞぉ桧室ぉ
誰にも物応じないその態度相変わらずで安心したぞ
さすが俺の見込んだ男だ

俺は悪党にも美学ってのは大事だと思うんだよ?
自分より格下を利用するのは小物だ
大物は欲望の為なら格上も組織も全て利用する
……

大門さんの美学にはいつも敬服しますよ

この施設を運営出来るのも大門さん達のおかげっス

うーむもっと嘘を包み隠す術を学ぶべきだな

だが伸び代がある事はいい事だ

それに比べて見ろラクを

それって褒めているの？

この若さで外道を極めている大したやつだよ

おう発明家

ジッ

新しいおもちゃ用意してきたのか？

もちろん

ニヤ

早くお姉ちゃん達に使いたいよ

じゃあ今回は…

ニヤ

ニヤ

みんなで遊んであげましょう♪
ふーっ
これがまー君の新作ねぇっ
二人ともとっても可愛いわ〜
ふーっ
持ってくるのい苦労したよっ
ふーっ
名付けて
"相思相愛椅子"
じゅん。

ふーっ
ふーっ
はぁ…
はぁ…
特に変わった仕掛けも無さそうだが？
はぁ…
これでどう二人を調教するつもりだ？
はぁっ…
はぁっ…
こういう拷問は機械の仕組みより発想がモノを言うんだよっ
まあ見てなよ♪
ジワ…

初めまして
澪
私は咲喜
仲良く
しましょっ
これから
あなた達
どうなるか
わかる？
ぴゅッ
あなた方
片方はこれから
肉便器になって
徹底的に
犯されるの
ガタ
ガタ
ガタ
大切なお友達が
汚されていく
様子をすぐ後ろから
感じてもらうわ
片方の暴れて
繋がっている拘束具が
しまる感覚
あげる悲鳴と
喘ぎ声
すぐ後ろから
感じる体温
苦しむ様子を
たっぷり感じ
取って欲しいわ
ジフ…
グッ

準備はいいかしら？
真琴っ
今日はあなたに泣いてもらうわ
ザクッ

聞いてるわよいつも真琴を庇っているそうじゃない？
澪ばかり虐めちゃ不公平だものね
だから頑張り屋さんの澪にはご褒美をあげないとね
ガッ
ガタ
ブルッ
ブルッ

どこから犯す？
真琴はお預けを喰らってたからな
俺ボーイッシュの方が好みなんだよね～
ガタ

いやあああっ

アッ

んぶぅっ

へへ 今日は徹底的に虐めていいって聞いてるからよ

ぢゅぱ

ううっ

ぢゅぱ

ふー

ぢゅぱ

興奮するぜ

ぢゅる

あっ

俺は足使うわ

いやっ

あっ

ぢゅる

太ももすべすべだね ちんぽ擦り付けると気持ちいいっ

ぢゅぱ

んんっ

おおっ 出るっ

ぢゅぱ

ぢゅぱ

おほぉっ

聞こえるかしら？真琴が美味しそうにちんぽを頬張る音が
んふーっ
んふーっ
ぢゅぱ
ぢゅぱ
ぢゅぱ
ぢゅぱ
ぢゅぱ
ぢゅる
んっ
んっ
へー真琴のやつなかなかいい顔するじゃないか
んんっ
どう？真琴の必死でもがく様を感じれるでしょ？
真琴もドMの素質ありだぜ
ぢゅぱ
ぢゅる
ぢゅる
ぢゅぱ
ぢゅる
なんだ二人揃って淫乱だったか

はほほ真おっ琴
ガタ
ズッ
グイ
ふふふ
どう興奮
しちゃった？
心配しないで
あなたのことは
ちゃんと
考えてあるわ
ぜーんぶっ
作動します～
ヴイイイ
ヴイイイ
ヴイイイ

大好きな真琴の喘ぎ声を聞きながらイケるように

一生懸命考えたのよ？

お友達が後ろで陵辱されてるのをオカズにいっぱいイッてね

そんな喜んだ顔してもらえて嬉しいわっ

乳首はもっと強くしましょうか

おまんことクリトリスはどう？

流石に膣に3つは入れすぎかしら？

お尻の穴の中感じてくれると嬉しいわ

もう欲しがり屋さん♪
グイ
ぶんぶんぶん
我慢するのは体に悪いわよ？
後ろの皆んなはもう我慢出来そうに無いけど？

出るっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゃんと飲み干せよっ
ぷはっ
次俺な
ちゅる
ちゅる
ちゅる
いい音立ててしゃぶるじゃねえか真琴
おっぶぅっ
おほぉっスポーティJK口まんこ最高だぜっ
俺の精液で溢れさせてやるっ
ちゅぱ
ちゅぱ
ちゅる
真琴…
ふーっ
ふーっ

ドドドッ
分裂っ
たっ たしゅけてぇっ
俺はどこに出そうかな～？
水着の中に出してやる
あっ
相変わらずガキのくせにいい体してんな
ぶっかけ甲斐があるわ～
あっ
ドピュッ

はははっ

もはや芸術作品だな

水着だからいくら精液で汚れてもいいな

しばらくこのまま着させておくか

毎日犯しても飽きねえわ

ゲイ

ドロ

ドク

澪ったらそんなに我慢して

困った子…

うわぁイカ臭え女とかないわ〜

いや俺は興奮するけど？

ふーっ

ふーっ

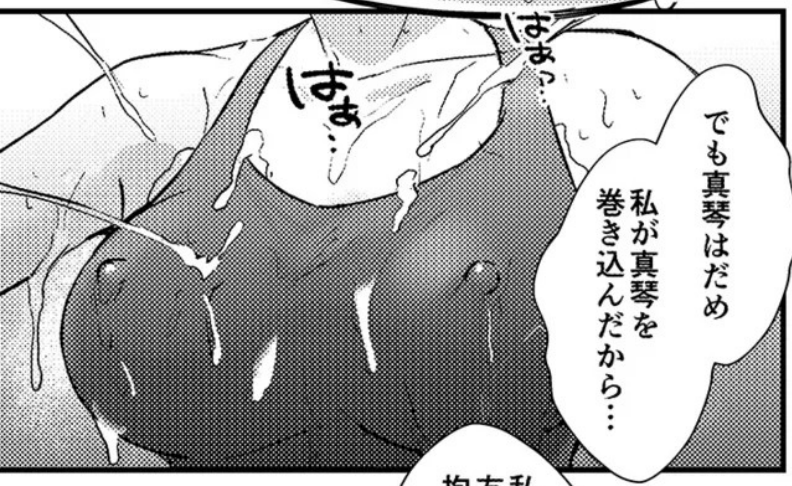
ふーっ

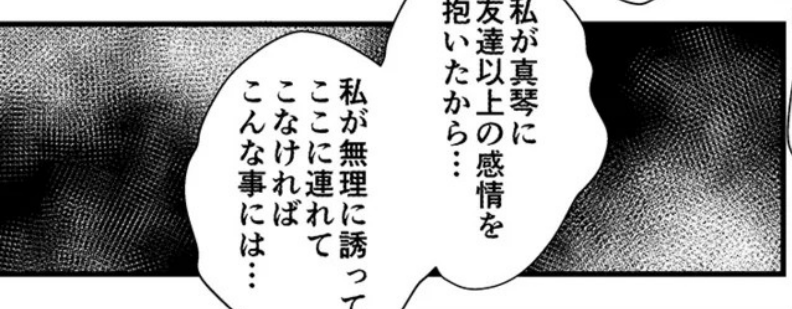
ほぅら
これでイケる
でしょ？
さあイって
後ろの真琴をオカズに
イクのよっ！
ほらほら
そんなに気持ちいい？

さあちゃんと後ろの真琴を感じて
我慢しないで？
ひぁあああ
んんっ
ふーっ
ああっ気持ちいいっ最高のオナペットだな真琴
太ももにぶっかけてやるっ
ん
想像してあげて
見ろ顔面は俺の精液でいっぱいだ
ほらイって汚された真琴を後ろで感じながら
はぁ…はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
ひゃめて…
俺も中に出しちゃおっと
ドロォ…
はははっ
水着の中もいっぱいだな
きたなっ

よく出来ました
ふぐぅっ
澪ったら陵辱された真琴でイっちゃうなんて
おおっ
おおおっ
すけべな娘
軽蔑しちゃうわ
ンンンっんブゥ
じょわ
今のお気持ち聞かせて？言いたいことあるんじゃない？
あっ♥

はぁっ…
はぁ…
ああああっ
真琴の方も水着んなかザーメンで溢れかえてるぜ
性奴隷に一歩近づいたな真琴





だからっ
これ以上私の友達を傷つけないで
お願いします…
真琴の分まで
あなたたちの奴隷にでも何でもなってあげるからっ
滴…

今からお前には罰を科す

澪この後に及んで素直なお前が見れなくて残念だ

ガタ

ガタ

ガタ

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

パン

ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱちゃ
ぱん
あっ♡
あっ♡
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱん
ぱちゃ
ぱん
興奮してきたか？澪
お前が素直になるまで真琴の陵辱は続くぞ
んんっ
ズッ
ズチュ
ズチュ
ズッ
おらおら見せつけられてる気分はどうよ？
ふぎぃっ

悔しくねえか？ちんぽに親友を寝取られてよ？
ぱん
ぱちゃ
ぱん
ぱちゃ
ぱん
あんっ
んっ
まあお前が強情を貫くなら
あんっ
おっ
真琴には女としての喜びを身体中に教え込んでやるまでだ
おんっ
いやあっ
真琴っ

びゅる
ああああっ
ア
あっ♥
あっ♥
ズチュ

ふーっ
ふーっ
ふーっ
はぁ…
はぁっ…
はぁ…
はぁっ…

次は俺だ
いやぁ やめてっ
その汚いモノを 真琴から離し なさいっ

んんっ
あっ♡♡
ズプッ
ズプッ
やめて…
ズチュ
ズチュ
あっ♡♡

ぱん
ぱちゅ
ぱちゅ
ズチュ
ズチュ
もうやめて…
あっ♡♡
あっ♡♡
ぱん
ぱん
ああっ♡♡
ズチュ
私をっ
やるなら私をやって
真琴が壊れちゃう…
ぱちゅ
あっ♡♡
はーっ
はーっ

ぱん
見たくないっ
あっ♡♡
見たくないよっ
チンチンでよがっている真琴の姿なんてっ
ぱん
ぱん
アッ
ぱん
ん
今日からお前が真琴を調教しろ
もちろん断ってもいいぜ？
ふーっ
ふーっ
はーっ
ドサッ
はぁ…
はぁっ…
まあその場合は真琴はちんぽで調教される事になるがな
ドロォ。
チャンスを与えてやる
はぁっ…
わかったか？お前には選択肢なんてねぇんだよ
ふーっ
ふーっ
ふーっ
期待してるぞ澪

喜べ
二人の
愛の巣だ

好きなだけ
愛し合ってくれ

少し狭いが
これくらいの方が
ちょうどいいだろ？

ん♥

ちゅ♥

あっ♥

ちゅ♥

ちゅ♥

ちゅ♥

はーっ

はーっ

はーっ

んっ

ドキ

澪っ

ドキ

ん

じゅん♥

渡さない…

ふーっ

ちゅ♥

ドキ

ふーっ

ちゅ♥

ドキ

ふーっ

これ
以上

真琴を
アイツらに…

はぁ…

はぁ…

ドキ

ゲッ

ドキ

はぁ…

はーっ
はーっ
ごめんね我慢して
すぐに気持ちよくしてあげるから
ん♥
ドキ
ドキ
ドクッ
ぬぷ♥
はーっ
ぬぷ♥
ぬぷ
ドキ
ぬぷ
ああっ
真琴…っ
ドキ
ぬぷ
ぬぷッ
ぬぷ♥
ぬぷ♥
んああっ
澪だめっ
ドキ
ぬぷ♥
ぬぷ♥
ドキ
んっ
私イッちゃう…
ドキ

だめ 今晩は私が好きにしていいの

ふーっ

ちゅ♥

ふーっ

はぁ…

はーっ

ひゃあ♥

じゃないとまたアイツらに汚されちゃうっ

あいつらに汚されたままなんていや

お願い 私を感じてイッて

ん…っ

あっ 濡っ

はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
はぁっ…
んっ
あっ♡
あっ♡
はーっ
はーっ
はーっ
ぎゅっ
ぎゅっ
ぎゅ

渡さないっ…
はぁ…
はぁ…
はぁ…
真琴っ
お願い
私もしてっ
絶対っ
アイツら
なんかにっ
ふぁあっ
くちゅ♥
はぁ…
はぁ…
ふぅ
ん
ドロォ

んっ 真琴っ
あっ♥
そこっ 気持ちいいっ
ちゅる♥
ちゅる♥
ちゅる♥
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
ちゅぱ♥
んっ♥
あっ♥
んっ♥
澪っ
ふぁっ
あっ♥
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
ぱちゅん
じゅわ

感じてっ
もっと
あっダメっ
はぁっ…
ぢゅる♥
ぢゅぱ♥
イクっ
はーっ
ぢゅぱ♥
ぢゅる♥
ぢゅる♥
もっと
私を感じてっ
気持ちいいよぉ
真琴ぉ
はーっ
はーっ
ぢゅる♥
イクっ
イクっ
イっちゃうっ
はぁ…
ぢゅる♥
はぁっ…

ん～ん～ッ♡♡♡
ああああっあっ♡
はぁ…
はぁっ…
はーっ
はーっ
はーっ
はーっ
はぁ…

やれば出来るじゃねえか

はぁ…

はぁ…

たっぷり楽しめたか？

さすが俺が見込んだ女だ

なあ？澪

ガシッ

どうだ？親友を欲望のまま弄んだ気分は？

……

今度は俺たちを楽しませてもらう

すぐにちんぽ咥えることが好きになるさ

スタッ

ギリ

これからは罰こそが救いになると思うぜ

行こうか

たっぷり可愛がってやる

ズッ

ゲイ

スタ

スタ

バタン

あとがき

お久しぶりです。銀茶です。
プールサイドの続編をようやく描くことができました。
これまで応援してくださった方々に感謝です。

最初にプールサイドを描いてから既に2年近く経過してしまいました。
その間に、プロとしてデビューして、編集さんとのやり取りの中で
漫画制作の力になる事を色々と学びました。
既にネームは早い段階で出来ていたのですが、70ページ超えだったり、
シーンに物足りなさを感じたので、大筋のストーリーはそのままに
幾度となくネームを切り直しました。
結果としてエロシーンを増やして前後に分けました。
なので、この話まだ終わってません(笑)

次回、調教師たちの本領発揮でさらに過酷な調教を二人に施します。
大門社長、今回何もしてないですしね…。
調教師たちも元々考えてあったのを
ようやく絵に起こして形に出来てよかったです。

何はともあれ、さらに良くなる形で皆さんの元へ届けるよう頑張ります。
そして自身も満足出来るように形に出来ればと思います。

同人イベントも完全復活したようで、ますます頑張らねばと思います。
それでは皆様、良いお年をお過ごし下さい。

銀茶

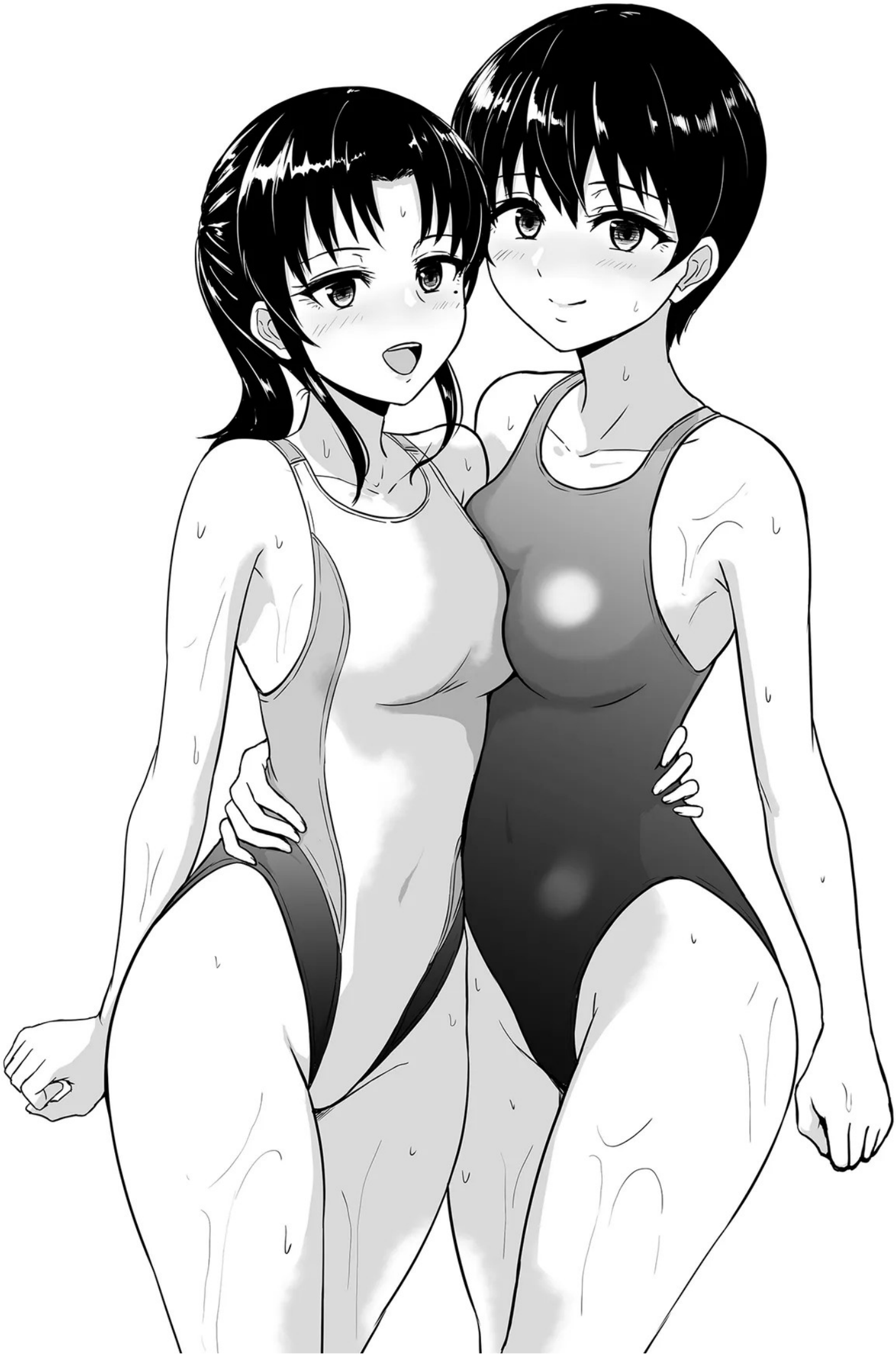
発行：銀茶屋
発行日：2023年12月31日

印刷：栄光印刷

OR_05「プールサイド　チャプター2」

ginchaya2904@gmail.com

X　FANTIA　Pixiv



C103 thank you!!
会場限定ペーパー
お寒い時期の中、スペースまでお越しいただき、ありがとうございました！
描きたいものは沢山ありますがゆっくりと進めていくつもりです。
もっと作品を増やしていければ
いいなと思っています。
来年はイラストの方にも
力を入れていきたいですね。
日々研究を重ねながら益々精進していく所存！
それでは良いお年を！
銀茶